

第 45 回日本診療情報管理学会学術大会
第 3 回実行委員会報告書

日 時： 2018 年 12 月 1 日（土） 8：30～9：30
 場 所： 公益財団法人日本生命済生会 日本生命病院 1F 工房
 出席者： 大会長 齊藤 正伸
 委員長 副大会長 佐野 博之、武田 理宏
 プログラム委員 橋本 昌浩
 実行委員長 金子 大記
 委 員 池田 健士、奥村 峰和、田中 龍也、平位 健治、藤田 亮平、
 本田 耕一郎、松本 吉史、宮本 浩樹、村原 暁子、森 英彦
 森藤 祐史、
 実行事務局 島田 裕子
 顧問 川合 省三

以上敬称略 18 名

議 事：

金子実行委員長の進行にて協議をおこなった。

1. 営業活動の進捗について(別紙参照)

広告、展示、ランチョン、寄付への申し込みが集まり始めている。大手企業への営業活動はすでに終えており返事待ちの状態である。年度内いっぱいぐらを目途に声かけした企業の回答を得るように働きかけを行い、中小企業へのアプローチも拡大していく。

2. 講演会、シンポジウムについて(別紙参照)

- ・講演 3,シンポジウム 4 枠の企画を進めている。
- ・座長の選出について、日病および学会の近畿支部からの顧問に登壇いただきシンポジウムへは学会貢献している指導者を中心に構成する。
- ・シンポジストの選出について、学会会員や実務者を中心に構成する。近畿だけでなく全国からバランスよく構成した方が盛り上がる。
- ・人工知能をテーマにした企画も検討する。
- ・各テーマについて、座長およびシンポジストの推薦があれば事務局に提案することとする。
- ・12 月中にすべてのテーマ、シンポジスト、座長を確定する。
- ・シンポジウムテーマに挙げた次のテーマを主題として一般演題から選出し、発表時間を少し長く設定したワークショップ形式に発展した企画を検討していく。「病院経営からみる診療情報管理」「質改善への新たなチャレンジ(バストカルテ紹介)」「次世代の読む、診療情報管理フィールド」「診療情報のヘルスケア活用」
- ・学会側による企画として下記の 2 点をプログラム構成する。
 ICD-11 教育講演について、厚生労働省 ICD 室に打診予定(時間枠未定)
 学会生涯教育委員会による診療情報管理士現況報告(60 分枠)

3. 懇親会について

- ・森藤氏より 3 会場の提案について説明がなされた。会費 7000 円、400 名収容会場を検討

A	学会会場からの移動なく料金安価	一般客の往来もあり フロアがいびつで管理しにくい	2,000,000
B	品格高く室無料・料理質が良い	学会会場から遠く参加費 7000 円で賄えない可能性高い	2,500,000
C	料理品多い、徒歩 5 分程度	料理量が少ない	2,200,000

- ・学会側は、会費 7000 円内で賄えることを条件に居酒屋でもいいので安価で押さえることを指示している。
- ・低コストにすれば質も落とすことになるが、移動してまで高い参加費で参加数が予定どおり見込めるか予測できずリスクも大きい。参加者の満足度をどの視点に合わせるか意見分かれた。会場の仮押さえ期限が迫っていることから、学会側の意向を再確認した上で早急に確定する。

4. 学会ホームページ構築について(別紙参照)

- 12月3日オープン予定であったが遅延しており、10日前後になる予定。
- 近ゼミや関連団体とのリンクも構築予定。
- 事前参加登録や宿泊予約のページは日本旅行で調整している。
- 事前参加申込で入金済みの方への特典として、ランチョン申込をweb登録できることも可能
この場合、事前案内をおこなっておきweb特典数は、多くせず当日配布分も残しておく。
→朝早くからチケット得るために並ばなくて良い。会場ホワイエに人が溜まらないメリットがある。これまでにないサービスでもあり、学会側の意向を確認し検討する。
→ランチョンは無料のため、空登録となり当日お弁当が余るといったリスクもある。
- 9/18から20までの3日間、各日500前後のホテルを確保している。
- 会期が連休に近い日程のため、近郊バスツアー案内も準備している。

以上

報告者：運営実行委員会事務局 島田